

青森

2024年1月 セット共済契約更改で意思統一 —4年ぶりに青森地方共済推進会議開く—



青森共済推進会議で挨拶を述べる水田共済推進本部事務局長

4年ぶりの対面で分会・支部合同による青森地方共済推進会議が9月22日(金)23日(日)2日間の日程で青森市浅虫温泉「旅館柳の湯」で、林野労組各分会・林退会各支部共済担当者並びに関係役員60名が参加して開催されました。会議の冒頭、この4年間に亡くなられた分会・支部共済担当者17名の御霊に黙祷を捧げた後、成田議長(共済代表委員)が挨拶にてコロナ禍で共済会議が出来なかったことにふれたあと、「日頃の共済活動に感謝するとともに、4年ぶりで開催されたこの共済会議でしっかりと意思統一を図

り、加入継続や拡大に取り組んで頂きたい。」と要請。続いて森林労連共済推進本部代表として水田事務局長の基調を兼ねて挨拶を行い、坂事業推進課係長、千葉事業推進課職員より「2024年1月セット共済契約更改と事務処理等」の説明・提案がなされ質疑応答を行い1日目の会議を終了。2日目の冒頭、青森・岩手・宮城三県における火災共済・自然災害の状況報告を兼ねて新任の島山こくみん共済coop(全労済)青森推進本部事業推進部長、三県における交通事故状況報告を兼ねて藍原青森損調SC所長の説明と挨拶を頂きました。続いて笹木林野労組青森支部書記長と西山共済専任推進職員より「青森地方連絡協議会の2022年共済活動の総括、2023年の共済活動方針と各種共済加入目標及び自賠共済加入目標」等について提案、質疑応答のあと全体で確認。最後に表彰に入り、優秀



優秀支部表彰の林退会深浦支部

支部表彰の林退会深浦支部、永年担当者表彰の松本幸雄氏(蟹田支部)、武井秀道氏(蟹田支部)、目黒稔氏(仙台支部)の1支部3氏に賞状と副賞を水田共済推進本部事務局より授与され、2日間の会議を終了しました。(報告・西山俊逸 共済専任推進職員)

秋田地方共済推進会議は、この間のコロナ禍において林野労組各分会担当者対象にWeb開催等での開催を余儀なくされてきたが、2019年以降の全面開催で共済推進会議を9月15日(金)16日(土)の2日間の日程で、山形県天童市にある天童温泉「天童ホテル」で、林野労組各分会担当者・林退会各支部担当者ならびに関係役員35名の参加の下で開催されました。

会議の開催にあたり、高橋議長(林野労組東北地方本執行委員長)より、「この間コロナウイルスの影響で組合活動にもかなり影響があったが、その中で、職場や地域での共済活動にご尽力いただいた分会役員、支部役員に感謝を申し上げる。年々加入人数などが減少し、組織的な年齢構成の課題もあるが現役世代の減少も続いている状況。しかしながら、将来の屋台骨を支えるのは現役世代であり、加入拡大は重要な課題であることから契約更改と連動させた林野労組加入の分会での取り組み強化をお願いしたい。」と挨拶を行いました。

続いて森林労連共済推進本部代表として、水田事務局長の基調を兼ねて挨拶を行いました。2日間の会議を終了し、

その後、コロナ禍で集まりが持ていないなか、配転等により分会担当者が変わったたり不在になるなど、共済推進活動が困難を極めているとの組合員の意見を踏まえ、共済運動の担い手育成に向けて「各種加入事務・共済金請求事務」について森林労連共済推進本部職員より説明をいただきながら、全体で学習会を実施しました。

最後に表彰に入り、優秀分会表彰・林野労組本局分會、永年担当者表彰・梅田昭子氏(能代支部)を紹介し、当日は本局分会担当者および梅田さんは欠席であったことから、林退会本局支部から参加をいただいた櫻田俊行さんに代理で賞状と副賞を水田共済推進本部事務局から授与し会場全体に笑い声が広がる場面がありました。

「気候」が「異常」だった。7月の大雨、その後の猛暑である。とりわけ7月の大雨では、昔、お世話になった先輩の自宅が床上浸水の被害となり、ゴミの撤去等の手伝いをさせてもらった。この活動を通じて、改めて労働組合の原点に触れることが出来た。何よりも、この活動を通じてかいた○○○○分会の○○○○の行動力には、ただただ感銘を受けるのみであった。▼次に「熊」である。東北各地で、連日人身被害の報道がされ、しかも、山中ではなく市街地での被害が増えていることには驚きと恐怖以外にない。アーバンの子孫が増えることと危険、冬眠しない熊のこの等が報道されており、この先不安でしやうがない。ただ、熊被害への対応を巡って役所への抗議はどこか「異常」だよなと思つた。▼個人的に興味らしいものがなく、強いて言うならば秋のキノコ狩りくらい。▼「マイタケ」狙いで知っている山へ行つたけれど、マイタケの木の字、キノコのキノも無く空振り。さらに熊の気配も無く、今年のような山は経験したことが無い。「異常」な年を肌で感じざるを得なかった。▼最後に一番「異常」なものがある。それは「政治」である。「政治と金」等の問題が後を絶たず、また差別を助長する政治家もいる。本当に頭にくるが、こうした政治家が当選していることも事実。いつ解散があってもおかしくない。「正常」な政治を取り戻すため、しっかりと取り組みを進めていかなければならない。「久兵衛」

秋田

現役世代の加入拡大は重要

秋田地方共済推進会議



4年ぶりに分会・支部担当者参加の共済推進会議

秋田地方共済推進会議は、この間のコロナ禍において林野労組各分会担当者対象にWeb開催等での開催を余儀なくされてきたが、2019年以降の全面開催で共済推進会議を9月15日(金)16日(土)の2日間の日程で、山形県天童市にある天童温泉「天童ホテル」で、林野労組各分会担当者・林退会各支部担当者ならびに関係役員35名の参加の下で開催されました。

その後、コロナ禍で集まりが持ていないなか、配転等により分会担当者が変わったたり不在になるなど、共済推進活動が困難を極めているとの組合員の意見を踏まえ、共済運動の担い手育成に向けて「各種加入事務・共済金請求事務」について森林労連共済推進本部職員より説明をいただきながら、全体で学習会を実施しました。

「気候」が「異常」だった。7月の大雨、その後の猛暑である。とりわけ7月の大雨では、昔、お世話になった先輩の自宅が床上浸水の被害となり、ゴミの撤去等の手伝いをさせてもらった。この活動を通じて、改めて労働組合の原点に触れることが出来た。何よりも、この活動を通じてかいた○○○○分会の○○○○の行動力には、ただただ感銘を受けるのみであった。▼次に「熊」である。東北各地で、連日人身被害の報道がされ、しかも、山中ではなく市街地での被害が増えていることには驚きと恐怖以外にない。アーバンの子孫が増えることと危険、冬眠しない熊のこの等が報道されており、この先不安でしやうがない。ただ、熊被害への対応を巡って役所への抗議はどこか「異常」だよなと思つた。▼個人的に興味らしいものがなく、強いて言うならば秋のキノコ狩りくらい。▼「マイタケ」狙いで知っている山へ行つたけれど、マイタケの木の字、キノコのキノも無く空振り。さらに熊の気配も無く、今年のような山は経験したことが無い。「異常」な年を肌で感じざるを得なかった。▼最後に一番「異常」なものがある。それは「政治」である。「政治と金」等の問題が後を絶たず、また差別を助長する政治家もいる。本当に頭にくるが、こうした政治家が当選していることも事実。いつ解散があってもおかしくない。「正常」な政治を取り戻すため、しっかりと取り組みを進めていかなければならない。「久兵衛」

「気候」が「異常」だった。7月の大雨、その後の猛暑である。とりわけ7月の大雨では、昔、お世話になった先輩の自宅が床上浸水の被害となり、ゴミの撤去等の手伝いをさせてもらった。この活動を通じて、改めて労働組合の原点に触れることが出来た。何よりも、この活動を通じてかいた○○○○分会の○○○○の行動力には、ただただ感銘を受けるのみであった。▼次に「熊」である。東北各地で、連日人身被害の報道がされ、しかも、山中ではなく市街地での被害が増えていることには驚きと恐怖以外にない。アーバンの子孫が増えることと危険、冬眠しない熊のこの等が報道されており、この先不安でしやうがない。ただ、熊被害への対応を巡って役所への抗議はどこか「異常」だよなと思つた。▼個人的に興味らしいものがなく、強いて言うならば秋のキノコ狩りくらい。▼「マイタケ」狙いで知っている山へ行つたけれど、マイタケの木の字、キノコのキノも無く空振り。さらに熊の気配も無く、今年のような山は経験したことが無い。「異常」な年を肌で感じざるを得なかった。▼最後に一番「異常」なものがある。それは「政治」である。「政治と金」等の問題が後を絶たず、また差別を助長する政治家もいる。本当に頭にくるが、こうした政治家が当選していることも事実。いつ解散があってもおかしくない。「正常」な政治を取り戻すため、しっかりと取り組みを進めていかなければならない。「久兵衛」

『源泉』 2023年も残り1ヶ月。例年、その年の世相等を漢字一文字で例えられるが、個人的には「異」かなと思う。▼まずは「異常」が「異常」だった。7月の大雨、その後の猛暑である。とりわけ7月の大雨では、昔、お世話になった先輩の自宅が床上浸水の被害となり、ゴミの撤去等の手伝いをさせてもらった。この活動を通じて、改めて労働組合の原点に触れることが出来た。何よりも、この活動を通じてかいた○○○○分会の○○○○の行動力には、ただただ感銘を受けるのみであった。▼次に「熊」である。東北各地で、連日人身被害の報道がされ、しかも、山中ではなく市街地での被害が増えていることには驚きと恐怖以外にない。アーバンの子孫が増えることと危険、冬眠しない熊のこの等が報道されており、この先不安でしやうがない。ただ、熊被害への対応を巡って役所への抗議はどこか「異常」だよなと思つた。▼個人的に興味らしいものがなく、強いて言うならば秋のキノコ狩りくらい。▼「マイタケ」狙いで知っている山へ行つたけれど、マイタケの木の字、キノコのキノも無く空振り。さらに熊の気配も無く、今年のような山は経験したことが無い。「異常」な年を肌で感じざるを得なかった。▼最後に一番「異常」なものがある。それは「政治」である。「政治と金」等の問題が後を絶たず、また差別を助長する政治家もいる。本当に頭にくるが、こうした政治家が当選していることも事実。いつ解散があってもおかしくない。「正常」な政治を取り戻すため、しっかりと取り組みを進めていかなければならない。「久兵衛」



秋田市中通6-7-36
全国林野関連労働組合
東北地方本部
発行者 高橋 茂
責任者
TEL 018-832-6957
FAX 018-834-7876

▼書記局予定▲
11月18日 林野労組若手県協総会
11月20日 東北労金秋田県本部
「労金フォーラム」
11月26日 大館支部林退会定期総会
12月2-3日 地本全体学習会

地域の活動

分会大会の開催情報

上小阿仁 組合員を支える分会運動を

林野労組上小阿仁支署分会は、9月29日に北秋田市丸留旅館において第17回定期大会を開催しました。冒頭、藤嶋執行部代行より、「この3年間定期大会を開催することができず、分会委員長をはじめ、相次ぐ執行委員の転勤を余儀なくされ、役員の担い手もなかなかいない中で、2年間は分会副委員長が1人、今年4月からは分会執行委員不在という状況でありました。この間、分会運動もなく、財政執行状態も明らかにせず、組合員の皆さんには大変ご迷惑をかけてきたと思います。署内組合員有志が分会再生に向け、相談し取り進む中から今日定期大会を迎えることができました。3年での配転や若手の未加入者の増加等により引き継ぐ役員の担い手不足等、悪循環に陥り、役員体制を維持することすら困難な状況です。さらにこのことで分会に運動ができず、労働組合を意識できなかったり、必要性を感じてもらえず、存在意義も問われてきています。労働組合の現状を変えていくのは、非常に困難になってはいますが、私たちの職場実態を見たときに組合員一人ひとりが多くの悩みを抱えながら仕事や生活をしているの

は明らかであり、組合員の状況を少しでも把握し支えあっているような分会運動を作っていくことをお互い確認しあいたいと思えます。」と挨拶があり、その後、この間の闘いの総括、2023年度運動方針案、また、各会計決算報告、予算案が提案され全組合員からの賛成多数で承認されました。

大会終了後には、地本から来賓として参加していた副委員長 藤嶋 卓也、書記 戸田 泰文、執行委員 佐藤めぐみ、執行委員 大沢 翔



上小阿仁分会大会

米代西部 組合員と同じ方向を 持って取り組む

林野労組米代西部森林管理署分会は、10月13日に能代市東北労働金庫能代支店2階会議室において才19回定期大会を開催しました。始めに、古倉執行委員長代行より、「分会3役が異動になり、組合員の皆さんには大変ご迷惑をかけている中で、組合運動に協力いただきありがとうございます。職場は業務量は減らず、空ポスト・欠員が続いており、職員には大きな負担となっている。働く仲間が健康で働くことが

大切であり、同じ方向を持って取り組んでいくことを今大会で確認できたらと思っています。」と挨拶がありました。その後、地本から来賓として参加していただいた古村副執行委員長より人事院交渉や2024年度概算要求・組織定員要求等の情勢と諸課題についてオルグを受け、2022年度闘いの総括、2023年度運動方針案、また、各会計決算報告、予算案が分会執行部から提案され質疑討論に入り



米代西部分会大会

組合員の積極的な閲覧をお願いします。 ～林野労組HP組合員専用ページ～

組合員への情報提供、組合活動の「見える化」として、開設した林野労組HP組合員専用ページでは最新の中央情勢等が閲覧できます。地本としても機関紙等で情報提供はしていますが、積極的な利用をお願いします。なお、利用方法を忘れた方、新規に登録したい方は地本・分会までご連絡ください。



林野労組HP画面

こんにちは！こくみん共済coop
森林労連共済推進本部秋田・青森支所で

こくみんきょうさいcoop 公式キャラクター
ビットくん (森林労連共済本部)

秋田支所 018-831-4547 (担当：萩庭)
青森支所 017-766-5490 (担当：西山)

セット共済契約更改のご案内は確認いただけましたか？

- ・更改の締切は、終わりましたが、登録に住所・電話・家族情報等の変更はなかったでしょうか？最終確定までまだ間に合いますので、再度ご確認をお願いします。
 - ・昨年より団体生命共済掛金が安くなりました。病気になる前にほんの少しの増口と保障の拡大をお勧めします。また未加入組合員（59歳以下）の方も病気をしていても一定の口数まで加入できる助け合いならではの特典のある団体生命共済をご検討ください。
 - ・団体生命共済・住みいる共済（火災・自然災害共済）に個人賠償責任共済を付帯する事ができます。（年払2,300円・月払200円）自転車やバイクでケガをさせた。飼犬がケガをさせた。お店のものを破損した等々。同居の親族が保障の対象となります。
 - ・ご自宅から離れ官舎やアパートにお住まいの方は、家財30口（年払木造2100円・鉄骨耐火1200円）全焼最高300万円・風水害最高90万他の保障をお勧めします。
 - ・今年も10月中旬に団体生命共済・他共済の割り戻しがあります。
- 団体生命共済割戻率約19.39%です。

マイカー共済等見積もり・お問い合わせは各支所まで遠慮なくお声をかけてください